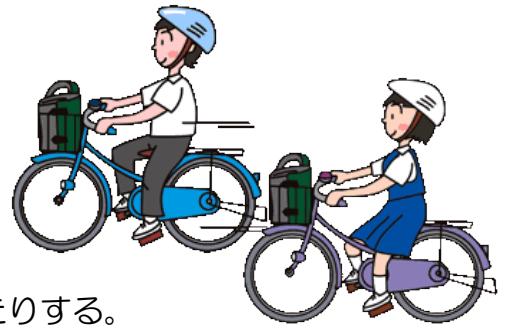


いじめ早期発見チェックポイント（教師用）

児童生徒の毎日の様子を観察し、児童生徒が発するいじめにつながる「小さなサイン（言葉、表情、しぐさ、行動）」を見逃さず、発見することが大切です。いじめの兆候や児童生徒の気になる様子に気づいたときには、すぐに管理職や他の先生へ連絡し、学校全体で解決に向けて行動してください。

- 遅刻や欠席が目につくようになる。
- 保護者の送迎や1人で登校するようになる。
- 声をかけても返事がない。
- 目をそらそうとする。
- 保健室によく顔を出すようになる。
- プリントなどの配布物が渡らない。
- カバンや荷物を持たされている。
- 急いで帰ろうとしたり、逆に用も無いのに残っていたりする。
- 生活ノートや連絡帳を出さなくなったり、ウソを書いたりする。



- 挙手や発言をしなくなる。
- 机の上が散らかるようになる。
- 教科書やノートを見せなくなったり、落書きや破損がある。
- 筆箱がなかったり、文具が壊れていたりする。
- 発言をからかわれたり、笑われたりする。
- ペアやグループに分かれる際に、誰も相手がない。
- 発言を指名されると、周囲が目配せしたり、ざわついたりする。
- 周囲から発言を強制されたり、指名されたりする。
- 準備物の準備や片づけをいつもさせられている。



- いつも一人でいる。
- 集団の中に無理やり一緒にいるような気配がある。
- 用もないのに職員室や保健室によく顔を出す。
- 教室から離れたトイレを使うようになる。
- 度を超えたふざけやいたずらがみられる。



- グループで机を離される。
- おかずなどをねだられたり、いたずらをされたりする。
- 牛乳などを無理やり飲まされる。
- 片づけをいつもさせられる。
- 食欲がなく、いつも残している。

- 部活動を休みがちになったり、退部届を提出したりする。
- 部活動で、特訓させられたり、片づけを命じられたりする。
- 上履き、運動靴、体育館シューズなどの持ち物がなくなる。
- 机、ロッカー、作品などに落書きや破損がみられる。
- 学級や班の係決めて、ふざけたように周りから名前を出される。
- わざと避けられたり、持ち物に触ろうとされない。

